

## 《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

# はいさい

## 沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

<http://oki-kyo.jp>

発行責任者 仲程正哲

## 福島の医療生協わたり病院の支援②

平成23年は日本だけで無く、地球規模で忘れられない年となった。この年3月11日、午後2時46分に三陸沖東南東130km、深さ24kmで起きたマグニチュード9.0の超巨大地震。岩手沖から茨城県沖まで幅200km、長さ500kmとされる広大な震源域をもち、宮城県北部で震度7、岩手県から千葉県にかけて震度6弱以上を記録するなど広範囲に強い揺れが観測された。引き続く津波は沿岸域で8~9mに達し、その週上高は最大40.1m(岩手大船渡市)にまで達したと報告されている。福島県は宮城県に次ぐ第2位の浸水被害を受け、死者1915人、行方不明者65人、81,216棟の家屋全半壊の被害を含め、産業、交通、生活基盤の壊滅的な打撃を受けた。更に津波の後の東京電力福島第一原子力発電所事故も重なり、1年10ヶ月経過した現在でも県内避難者97,887人、県外避難者57,954人の合計155,841人が避難生活を余儀なくされている。福島は、地震、津波、原発事故、風評被害の4重苦に曝されたが、更に悪いことに、その後7月に新潟・福島豪雨災害、9月に台風15号による風雨被害も受けた。しかし甚大な被害を受けた他の県との決定的な違いは、やはり原発事故に伴う広範な放射能汚染問題であろう。

浜通り地区の医療機関でも、現時点でも医師、看護婦とも震災前の6割程度しか確保できず、依然深刻な問題として残っている。原発事故はまだまだ収束の糸口も見えず、人々はおそらく今後半世紀以上は続くであろう放射能汚染問題と厳しく対峙せざるを得ない。

わたり病院はベッド数196床を持ち、県北医療圏(福島市29万人+伊達市、伊達郡の合計50万人の診療圏)の二次救急の一翼を担っている。わたり病院問題も外部被曝、内部被曝を憂う子育て世代の離職に端を発する。ベテラン医師の退職、研修医の就職取りやめ、40人に及ぶ看護婦の離職は、放射能汚染がひきおこしたものといえる。現在、全日本民医連の援助を受けながら、遠藤院長のもと職員一丸となり病棟再編成を行い、活動を立て直しに尽力されているところである。国際原子力評価尺度でチャルノブイリ原発事故と同様クラス7にランクされる福島原発事故の本当の姿はこれから現れてくる。ヨウ素131、セシウム134、137などの放射性物質から受ける外部被曝、内部被曝による健康被害を住民一人一人毎に明らかにする作業、それを30年以上継続する課題が行政に携わる人や医療人に突きつけられている。医療福祉生協、全日本民連もこれから長期間に渡る人的、財政的支援を視野に入れて活動していく構えが必要であろう。

内科 諸見川純

## 新医師の紹介

皮膚科  
新井聖一

はじめまして。皮膚科の新井聖一(あらいまさいち)です。生まれは山口県(昭和44年生まれ)、出身大学は栃木県の獨協医科大学(平成8年卒)です。趣味はサッカーですが沖縄に來たのでダイビングを始めようと思っています。仕事以外にも、遊ぶところもいろいろと教えて頂けると幸いです。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申しあげます。

## 病院の活動状況 &lt;1月度&gt;

- ・外来一日平均患者数：762 (前年同月比 -91人)
- ・入院一日平均患者数：270 (前年同月比 -12人)
- ・組合員利用率：50.8% (前年同月比 -0.7%)

## 虹のバレンタイン行動

去る2月13日に「虹のバレンタイン行動」に参加してきました。まだ北風の寒い曇り空の中、沖縄協同病院から12名 医療生協本部から4名 民主診療所から2名、虹クリニックから2名の職員がパレットくもじの前で集合し、署名、健康チェック、チョコレート付きカード500枚を配布してきました。

久しぶりに来たパレットくもじ前では、交差点を早足で行き交う人や買物袋を下げて家路に急いでいる人、那覇の町に遊びに来ている若者、修学旅行に来ている学生達の姿が新鮮に目に映りました。健康チェックでは、血圧を測り、体脂肪率、肥満チェック、生活習慣の相談、指導を行い、病院受診を勧めた方々もいました。忙しい中 私達の声かけに足を止め署名に御協力をしてくださいました。有難うございました。



外来 大城早苗

## 3月4日より実施

## 内科外来体制の変更について

## &lt;夜間外来について&gt;

3月4日より予約患者さまのみの診療となります。

※急性症状のある方は、これまで通り救急にて対応致します。

## &lt;午後の初診紹介外来について&gt;

受け付け終了時間が16:00までとなります。

患者さまにはご迷惑をお掛け致しますが、  
ご理解とご協力をよろしくお願いします。

上原医師の季節の挿絵  
画・内科医上原 和博

今月の医療記事はお休みです。

## 避難者健診の取り組みについて

2011年3月突然の震災と原発事故のあと、沖縄に避難してこられた方が大勢います。ふるさとは遠く、家族も離ればなれで大きな不安の中で暮らしている方々の思いを受け止め、少しでも安心してもらえるように、沖縄民医連では避難者健診を行いました。福島県からの避難者のグループ「じゃんがら会」の方々と事前に打ち合わせして、これまでに3回の健診を行い、200名を超える方が受診されました。これからも長く続けていく必要があると考えています。ご協力ご支援よろしくお願ひ致します。

小児科 雨積涼子

## 第31回学術運動交流集会

今回、私は初めて県連の学術運動交流集会に発表者として参加をしました。そこで感じた事は「なんて活気のある集会なんだ。」でした。最初は自分の演題発表だけに気がいっており発表し終わったらこれで終わりという認識をしていましたが、いざやってみると様々な部署からの質問や事例がとても興味深く引き込まれてしまいました。又、自身の演題のみならず、他部署の演題内容に私自身も興味を示すものが数多くあり、私自身もついつい質問をしてしまいました。

この集会は先述したとおり様々な部署の意見、質問、事例などが投げ交わされており発表者、非発表者問わず引き込まれる空気を感じさせました。

放射線 比嘉知



## さくらまつりに参加して…

去る2月9~10日に漫湖さくらまつりが開催されました。例年なく大規模なお祭りとなりましたが、沖縄協同病院も団体参加をし、主に骨密度測定と組合員の加入を呼びかけました。今回行った骨密度測定とは、骨の強さを密度から測定するもので、実年齢や20歳の平均値と比較することのできるものです。当院のブースも他のブースに負けず劣らずにぎわっていました。

医療情報分析室 安仁屋政芸



▲台湾シロガシラ



▼シロガシラの食害

とよみ生協病院 事務課長 金城稻子

今年は特にシロガシラの被害がひどい。毎年今の時期はモモンジロコヨウが群舞する煙でブロッコリーの葉から青虫を喰つてはいるが、今年はこの作業が必要ない。チョウがないのだ。しかし、葉はボロボロである。ジャガイモ、レタスの葉も。トウガラシの実さえ被害が出ているという。もちろん犯人はシロガシラである。うとむげに追い払うのもかわいそうな気がする。

さて、22日の日米首脳会談後の新聞の見出しへは「辺野古移設で政府調整。来月にも埋め立て申請」と書かれている。ほんとに聞く耳を持たず進歩がない政府だ。シロガシラの学習能力を見習つてほしいものである。



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

**ご意見・ご要望** たいへんお世話になりました。医療の現場は、新聞・書物の上で一応理解していたと思い込んでいましたが、現場の多忙な実態を知らなさすぎたと改めて思いました。多忙の中でも私は気持ちのよい看護・介護を実感しましたが、一方多忙の中で患者に対する看護師の言葉がきつく腹につかえるものもあったという声も耳にしました。私としては看護すべての面に100点をさし上げたいところですが95点!

若い皆さんが今後、患者から学ぶこと、また先輩の皆さん方の生活も変化するでしょう。社会経験を積んでいく中でより経験豊かな看護ができると!「希望の星」は120点になるものと期待しています。頑張ってほしいと思います。

入院中の食事大変おいしくいただきました。

若いリハ担当のみなさん、老人を励まし、褒めて訓練する。老人も褒められるうれしいもので、頑張ることができました。リハの訓練で、日々変化していくこともまたあどろきでした。ありがとうございました。

8階病棟の投書

**ご返事** この度は当病院を選んで頂いた上に、大変ありがたい意見を寄せてくださいましたこと、そして、私どもスタッフの看護に対して、高得点な評価を賜り、誠にありがとうございました。

若いスタッフも、今が看護師として、患者様に接する事で日々学びを積み重ね成長している途中でございます。しかしながら、業務に忙殺され、漫然と時を過ごしがちであったと反省しております。

時にこのような、ご指導、ご助言を頂き病棟スタッフ一同改めて身を引きしめ業務に努めて参りたいと思います。

また、現在の医療現場は改善が進んでいるとはいえ、多忙な実態はなかなか改善することができていないのも実情でございます。今後も病院スタッフ一同、全力で皆様の心に寄り添えるような看護を目指し、精進してまいります。

8階病棟 保久原淳

## 外来体制変更のお知らせ

外科 (2013年3月1日~) ※予約制です

	月	火	水	木	金	土
午前		比嘉聰	比嘉聰	有銘一朗 川上浩司	有銘一朗	交代
午後	屋良敏男 (~16:00まで)	比嘉聰	屋良敏男 (~16:00まで)	有銘一朗	屋良敏男 (~16:00まで)	
夜間		比嘉聰		有銘一朗		

## 皮膚科 (2013年3月~)

	月	火	水	木	金	土
午前	一診 二診	新井聖一	新井聖一		新井聖一	
午後	山城栄津子			山城栄津子		
午後	一診 二診				新井聖一	
					山城栄津子	

## おきなわの自然

(34)

私は台湾シロガシラの出会いは衝撃的なものだった。10年前隣のイングン畑で収穫作業をしていた母が「鳥を捕まえたので見て!」と言った。行ってみると母の左手には白い頭と茶色の尻尾がみ出た鳥が握られていた。白い頭は首の関節が折れたようにだらりとしていた。強く握りしめたために死んでしまったのかと思い、母が掌を開くと次の瞬間、サッと飛んでいったのである。唚然茫然。死んだふりをする鳥を初めて見た。その後からシロガシラ(略)の行動に興味を持つようになつた。彼らは敏捷性に優れ、学習能力が高くて賢い。そして、とてもグルメだ。一級品のイングンだけを半分から食いちぎり放題。しかも一度かじった場所は二度とかじらない贅沢。さらにハウスの中で追いつめるとスーサー(ヒヨドリ)はパニックになつて簡単に捕獲できるが、シロガシラは入ってきた穴を覚えていてその穴から冷静に逃げていく。ハルサーはあの手この手で撃退策を考えるがすぐにバして効果は続かないという。見せしめに数羽串づりにされているシロガシラを見る度、恨みの深さを知る。今後も頭脳戦はハルサーの劣勢で永遠と続くに違いない。

今年は特にシロガシラの被害がひどい。毎年今の時期はモモンジロコヨウが群舞する煙でブロッコリーの葉から青虫を喰つてはいるが、今年はこの作業が必要ない。チョウがないのだ。しかし、葉はボロボロである。ジャガイモ、レタスの葉も。トウガラシの実さえ被害が出ているという。もちろん犯人はシロガシラである。うとむげに追い払うのもかわいそうな気がする。

さて、22日の日米首脳会談後の新聞の見出しへは「辺野古移設で政府調整。来月にも埋め立て申請」と書かれている。ほんとに聞く耳を持たず進歩がない政府だ。シロガシラの学習能力を見習つてほしいものである。